

蹴-1GP in 宇美町開催

2月16日(日)に総合スポーツ公園で、「蹴-1GP in 宇美町」が開催されました。

蹴-1GPは、令和2年に宇美町、都農町(宮崎県)の両町が、町制施行100周年という大きな節目を迎えたことが縁となり始まり、多くの人に気軽にPKをプレーしてもらうことでその楽しさや喜びを知ってもらい、生涯スポーツやサッカーの広い浸透を促すとともに、幅広い世代と一緒にプレーして親睦を深める地域交流の促進を目的として開催しています。

当日は、選手や保護者など33チーム(約200人)が会場を訪れました。数々のスーパープレーや、試合の勝敗関係なく対戦相手の健闘をたたえあうシーンがあり、会場では大きな拍手や歓声が上がっていました。



▲白熱した戦いが繰り広げられました

宇美町スポーツ協会 創立50周年記念行事開催

2月9日(日)に住民福祉センター体育館、地域交流センター多目的ホールにて、宇美町スポーツ協会創立50周年記念行事が開催されました。宇美町スポーツ協会は、昭和49年6月に発足し、糟屋郡民スポーツ大会への選手団の派遣、指導者などのリーダー育成や軽スポーツの普及促進などに携わっています。

第1部では部会対抗軽スポーツ大会が実施され、第2部では記念式典が行われました。第3部では、元ソフトバンクホークスの新垣渚さんが「指導者としての向き合い方」について講演されました。

今後も宇美町のスポーツ振興、環境づくりの推進への活動が期待されます。



▲新垣渚さん(前列左から2番目)と出席者の皆さん

高円宮杯JFA第36回全日本U-15 サッカー選手権で入賞

令和6年12月14日(土)～27日(金)に開催された「高円宮杯JFA第36回全日本U-15サッカー選手権」において、サガン鳥栖U-15でプレーしている宇美中学校3年生の井手幹太さんが3位に入賞されました。

小さい頃から憧れだったサッカー選手になるために、クラブチームで活動しているという井手さんは、「サッカーは、チームの仲間とコミュニケーションを取り、試合に勝てたときや自分の成長を感じることができたときが楽しいです。今後は、全国大会に出場し、自分のプレーを見た人に勇気を与えることができるように頑張りたいです」と話してくれました。



▲プレー中の井手さん

極誠会(空手)のこどもたちが 全国大会で活躍中!

宇美町スポーツ協会所属「日本実践空手道連盟 極誠会」のこどもたちが全国大会で活躍されています。

2月3日(月)には、町長へ全国大会出場を報告するため来庁されました。来庁したこどもたち全員が賞状やトロフィーを手にしており、中でも、菊本悠翔さん(井野小4年)は「梶原一騎先生メモリアル 第23回カラテ界のあしたのジョーをさがせ! 全国選抜優勝大会」で優勝、松竹大和さん(桜原小5年)は「第10回リアルチャンピオンシップ決勝大会」で優勝されています。

町長からは、「強さに加えて、優しさを持った選手になってください」と激励の言葉が贈られました



▲町長を訪問した極誠会のこどもたち

「調べる学習コンクール」(全国大会)で優良賞・奨励賞を受賞

「第16回宇美町図書館を使った調べる学習コンクール」へ応募された2,882作品の中から優秀作品44点を全国大会へ推薦しました。全国大会には123,541作品の応募があり、優良賞1作品、奨励賞6作品、佳作37作品を受賞しました。

第28回「図書館を使った調べる学習コンクール」(全国大会)結果(敬称略)

【優良賞】 上田 浩平(井野小学校6年)
「挑戦 お弁当の日を本来の姿に!! 子どもが作る『弁当の日』」

【奨励賞】 和田 拓真(井野小学校2年)、秦岡 美羽(原田小学校3年)、
庄田 恵絆(原田小学校4年)、世利 宗二郎(井野小学校5年)、
見月 輝直(井野小学校5年)、藤川 心緒(宇美東中学校3年)

【佳 作】 37作品

結果は、図書館振興財団ホームページ
<https://concours.toshokan.or.jp/winner>
に掲載されています。



▲
図書館振興財団ホームページはこちら



▲井野小学校 受賞者の皆さん



▲原田小学校 受賞者の皆さん



▲宇美東中学校 藤川さん

御城印「大野城」完成式

宇美商業高等学校との連携協定に基づき、同校書道部生徒に揮毫いただいた御城印「大野城」の完成式が2月13日(木)に執り行われました。

白色、若草色、びわ色の3種類があり、3人の生徒によりそれぞれ異なる書体で揮毫されています。

町長から生徒へ「皆さんが書いた御城印を求めて、町内外から多くの方が訪れると思います」と感謝の言葉を伝えました。

御城印「大野城」は、3月1日(土)から歴史民俗資料館で販売しています。詳細は、町ホームページをご覧ください。



▲
町ホームページ
はこちら



▲宇美商業高等学校の安永教頭(左)と町長(右)

全国中学生人権作文コンテスト 感謝状授与

「全国中学生人権作文コンテスト」は、法務省と全国人権擁護委員連合会が、次代を担う中学生に日常の家庭生活や学校生活の中で得た体験に基づく作文を書くことを通して、人権尊重の大切さや理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として実施しているものです。宇美東中学校は、同コンテストに5年連続で応募し、中学生の人権意識の高揚に尽力されたことが認められ、1月27日(月)に、人権擁護委員の吉村龍行さんから同校の井上校長に感謝状が手渡されました。



▲井上校長(左)と吉村人権擁護委員(右)